
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第171号

2013/11/13配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 11/06～11/13までの更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2013/11/07】

- ・セミコン・ジャパン2013(平成25年12月4日～6日)に出展します。

→ http://www.safe.nite.go.jp/newsrelease/20131107-2_leaflet.pdf

12月4日から12月6日までの間、標記展示会に出展します。出展内容は、

- ・化学物質管理に関する情報提供サービス(CHRIP)
- ・反復投与毒性を対象とする有害性評価支援ツール(HESS)

など。

また、下記の要領でCHRIPの活用方法に関するセミナーを開催します。

日時:12月6日(金) 14:30～14:50

場所:幕張メッセ 国際展示場ホール6 TechSTAGE EAST

【2013/11/07】

- ・化学物質の有害性評価の効率化を支援するNITE QSAR講習会(平成25年12月10日、11日)を開催します。

→ http://www.safe.nite.go.jp/kasinn/qsar/hess_kousyukai_04.html

下記の要領で標記講習会を開催します。

日時:12月10日(火)、11日(水) 14:00～17:30

場所:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 本館4階 南1,2会議室(東京都渋谷区西原2-49-10)

定員:各15名(先着順)

申込期限:11月29日(金) 12:00

内容は、

- ・近況報告と本講習会の概要説明

- ・ 評価事例1:溶血性貧血を対象とした化学物質の毒性評価
 - ・ 評価事例2:腎毒性を対象とした化学物質の毒性評価
 - ・ 評価事例3:肝毒性を対象とした化学物質の毒性評価
- など。

●経済産業省

【2013/11/07】

- ・ 「HCFC」の輸入割当てについての意見募集

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595113060&Mode=0>

11月7日から12月6日までの間、標記の意見募集が行われている。

【2013/11/11】

- ・ 第1回産業環境対策小委員会 - 議事要旨及び配布資料

- ・ 議事要旨

→ http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/sangyougijutsu/kankyo_taisaku/001_giji.html

- ・ 配布資料

→ http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/sangyougijutsu/kankyo_taisaku/001_haifu.html

11月8日に開催された標記会合の議事要旨及び配布資料が掲載された。議題は、

- (1)揮発性有機化合物(VOC)排出抑制に係るこれまでの取組について
 - (2)VOC排出抑制のための自主的取組促進のための指針(案)について
 - (3)今後のVOC排出抑制のための自主的取組における取組の目指すべき方向性及び方策について
 - (4)VOC排出抑制のための自主的取組参加企業の拡充に向けた取組について
 - (5)大気汚染に関する最近の動向について
- など。

●厚生労働省・農林水産省

【2013/11/05】

- ・ 第54回コーデックス連絡協議会 議事概要及び配布資料

- ・ 厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/idsenshi/codex/07-09/index.html>

- ・ 農林水産省

→ <http://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/54.html>

10月25日に開催された標記会合の議事概要及び配布資料が掲載された。

議題は、

(1) 最近コーデックス委員会で検討された議題について

・ 第36回 総会

(2) 今後コーデックス委員会で検討される議題について

・ 第35回 栄養・特殊用途食品部会

・ 第45回 食品衛生部会

など。

●厚生労働省

【2013/11/06】

・ 食品添加物:よくある質問(消費者向け) 添加物規制に関する国際比較

→

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuten/dl/q4_tennkabutu.pdf

標記資料が掲載された。

【2013/11/07】

・ 特定化学物質健康診断結果報告書様式

→ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei36/18-02-download.html>

標記資料が掲載された。

【2013/11/11】

・ 労働安全衛生規則第九十五条の六の規定に基づき厚生労働大臣が定める物等の一部を改正する件(案)に係る意見募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130167&Mode=0>

11月11日から12月10日までの間、標記の意見募集が行われている。

●内閣府食品安全委員会

【2013/11/05】

・ 食品安全委員会 器具・容器包装専門調査会(第25回)の開催について

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/kigu_youki_annai25.html

11月13日に標記会合が開催される。議題は、フタル酸ジブチル(DBP)の食品健康影響評価について、など。

●産業技術総合研究所 (AIST)

【2013/11/07】

- ・ リスクトレードオフ評価書(工業用洗浄剤、要約版)を追加しました。

→ <http://www.aist-riss.jp/main/modules/news/index.php?page=article&storyid=114>

標記資料が掲載された。

【2013/11/08】

- ・ 「PEN」2013年11月号が配信されました。

→

<http://pengin.ne.jp/index.php/ja/pen-back-number-2/viewdownload/1-pen-issues/697-pen-2013-november-vol-4-no-8.html>

国内外におけるナノテクノロジー管理情報及び動向をまとめたPEN News Letter(2013年11月号)が掲載された。

●国立環境研究所 (NIES)

【2013/11/08】

- ・ 国立環境研究所の研究情報誌「環境儀」第50号「環境多媒体モデル-大気
- ・ 水・土壌をめぐる有害化学物質の可視化-」の刊行について(お知らせ)

→ <http://www.nies.go.jp/kanko/kankyogi/50/02-03.html>

標記資料が掲載された。内容は、

- ・ Interview:研究者に聞く(環境多媒体モデルを活用し、環境汚染物質のリスク評価へ)
- ・ Summary:地理情報の上に展開する新たな環境多媒体モデルの研究
- ・ 研究をめぐって:GIS環境多媒体モデルに関する国内外の研究と応用の現状など。

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2013/11/07】

- ・ [メールマガジン]バックナンバーに第508号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No508.htm

標記資料が掲載された。各府省や関連団体等で新規に公開された情報の中から、食の安全と消費者の信頼の確保に関する情報がまとめられている。

【2013/11/08】

・農薬登録情報ダウンロードを更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/ddownload/index.htm>

標記情報が更新された。

●日本化学工業協会（JCIA）

【2013/11/08】

・レスポンシブル・ケアニュース2013秋季号No. 71の発行

→ <http://www.nikkakyo.org/news27-list/2161>

標記資料が掲載された。

【2013/11/11】

・課題解決型の研究活動「新LRI」、第2期の委託研究課題を決定

→ <http://www.nikkakyo.org/press/2162>

標記資料が掲載された。

●中小企業基盤整備機構

【2013/11/08】

・[J-Net21]REACH Q.409:インドネシアのGHSに関する規則について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/409.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/11/08】

・[J-Net21]RoHS Q.399:中国における梱包材の表示マークの変更点について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/399.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/11/08】

・ [J-Net21] REACH コラム:台湾化学物質管理体制の整備にまつわる話題-職業安全衛生法の公布、毒性化学物質管理法の改正、第3段階GHS対象物質案の意見募集等-

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/131108.html>

標記コラムが掲載された。

●海外環境協力センター (OECC)

【2013/11/08】

・ 中国環境情報10月号を掲載しました。

→ <http://www.oecc.or.jp/contents/china/china1310.html>

標記資料が掲載された。内容は、中国政府(国務院、環境保護部)の環境政策の動き、地方(地方政府等)の環境情報、など。

●欧州化学品庁 (ECHA)

【2013/11/08】

・ Harmonised classification and labelling current consultations

→ <http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

ECHAは、CLP規則に基づき、調和化された分類・表示提案を発表し、パブリックコンサルテーションを開始した。対象物質は、1,2-ジクロロプロパン(CAS:78-87-5)。コメントの提出期限は、12月23日。

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2013/10/30】

・ EPA announces a call for topics, speaker, and panelists for an upcoming Formaldehyde Workshop

→ <http://www.epa.gov/iris/irisworkshops/fa/index.htm>

米国EPAは、2014年春(3月もしくは4月)に開催されるホルムアルデヒドに関する公開ワークショップの議題およびスピーカー/パネリストを募集し

ている。ホルムアルデヒドによる人健康影響(経口暴露)に関するIRISの毒性影響評価のレビューの更新にあたり行われるもの。

【2013/11/01】

- Assessing Pesticide Risks to Endangered Species - Workshop on Implementing NAS Recommendations

→ http://www.epa.gov/oppfead1/cb/csb_page/updates/2013/nas-workshop.html

米国EPAは、米国海洋大気庁海洋漁業局、米国魚類野生生物局及び米国農務省と合同で、農薬の絶滅危惧種に対するリスク評価に関するワークショップを開催する。2013年4月に発表した計画案について、各機関が協働で実施するアプローチ等が発表される。なお、暫定的なアプローチに関する文書及び議事次第は、会合直前に閲覧可能となる。

【2013/11/05】

- Significant New Use Rules on Certain Chemical Substances; Removal of Significant New Use Rules

→

<https://www.federalregister.gov/articles/2013/11/05/2013-26508/significant-new-use-rules-on-certain-chemical-substances-removal-of-significant-new-use-rules>

米国EPAは、以下3物質に対する重要新規利用規則(SNUR)を解除する最終規則を公示した。規則の発効日は、11月5日。

- alkanes, C21-34-branched and linear, chloro(CAS記載なし)
- alkanes, C22-30-branched and linear, chloro(CAS記載なし)
- alkanes, C24-28, chloro(CAS記載なし)

【2013/11/06】

- Pesticide News Story: EPA Seeks Public Input on Newly Designed Graphic for Bug Repellent Labels - New graphic will help consumers make informed choices to protect their health

→ http://www.epa.gov/oppfead1/cb/csb_page/updates/2013/bug-repellent-label.html

米国EPAは、皮膚に塗って利用する防虫製品のラベルについて、効果の持続時間や対象害虫を消費者にわかりやすく表示にすることについて、パブリックコメントを実施している。コメントの提出期限は、2014年3月6日。

【2013/11/06】

・ Toxic Substances Control Act Chemical Testing; Receipt of Test Data

→

<https://www.federalregister.gov/articles/2013/11/06/2013-26644/toxic-substances-control-act-chemical-testing-receipt-of-test-data>

米国EPAは、TSCA第4条に基づき、20の高生産化学物質に関する試験データを受領したことを発表した。対象物質は、

- ・ペンタエリスリットテトラナイトレート (CAS:78-11-5)
- ・アントラキノン (CAS:84-65-1)
- ・尿素 (CAS:57-13-6)
- ・ピグメント ブルー-61 (CAS:1324-76-1)
- ・アセトアルデヒド (CAS:75-07-0)
- ・1,2,4,5-ベンゼンテトラカルボン酸無水物 (CAS:89-32-7)
- ・2,2',6,6'-テトラ-tert-ブチル-4,4'-メチレンジフェノール (CAS:118-82-1)
- ・ベンゾフェノン (CAS:119-61-9)
- ・シユウ酸 (CAS:144-62-7)
- ・ナトリウムホルムアルデヒドスルホキシレート (CAS:149-44-0)
- ・ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン (CAS:4719-04-4)
- ・1,2,3,4,5,6-ヘキサヒドロキシヘプタン酸塩 (Na, K, Ca) (CAS:31138-65-5)
- ・サルファー リュウコブラック 1 (CAS:66241-11-0)
- ・Castor oil, oxidized (CAS:68187-84-8)
- ・ar,ar-ジエチル-ar-メチルフェニレンジアミン (CAS:68479-98-1)
- ・ベンゼンスルホクロリド (CAS:98-09-9)
- ・クロロベンゾトリフルオライド (CAS:98-56-6)
- ・ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム (CAS:127-68-4)
- ・Propanoic acid, 2-methyl-, 3-(benzoyloxy)-2,2,4-trimethylpentyl ester (CAS:22527-63-5)
- ・ジメチルベンゼンスルホン酸 (CAS:25321-41-9)

【2013/11/07】

・ EPA receives the National Research Council (NRC) Interim Report that describes recommendations to the IRIS Program for developing an updated assessment of inorganic arsenic.

→ <http://www.epa.gov/IRIS/irisworkshops/arsenic/meetings.htm#NRC>

米国EPAは、米国学術研究会議(NRC)から無機ヒ素の人健康影響(経口暴露)に関する毒性影響評価レビューの見直しに関する中間報告書を受け取ったことを発表した。NRCは、EPAの現行のリスク評価手法に代わる統計的手法を導入することを提案している。

【2013/11/07】

・Web App: EPA's EXPOsure toolBOX (EPA-Expo-Box) is online!

→ <http://epa.gov/ncea/risk/expobox/>

米国EPAは、暴露評価ツールボックスEXPOsure toolBOX (EPA-Expo-Box) をオンライン公開した。当該ツールを利用して、暴露評価に有用なガイダンス文書やデータベース、モデル等の情報源の紹介を受けることができる。

●EICネット：環境情報センター

【2013/11/06】

・ストックホルム条約有機汚染物質検討委員会、2物質の段階的廃絶を勧告、ロッテルダム条約化学物質検討委員会とも会合

→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=31239&oversea=1>

「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」のPOPs検討委員会は10月21日、2013年10月14～18日にローマで第9回会合を開催し、健康リスクが懸念されるヘキサクロブタジエン(HCBD)等2物質を、条約附属書A(廃絶)と附属書C(非意図的な放出の削減)へ追加するよう締約国会議に勧告することを決定した。また、デカ-BDE、ペンタクロロフェノール(PCP)とその塩・エステル類については、検討を次の段階へ進めリスクプロファイル案を作成すること、ジコフォルについては、次回会合で再度検討することを決めた。

●セミナー情報

【2013/11/07】

・【製品評価技術基盤機構(NITE)】化学物質の有害性評価の効率化を支援するNITE QSAR講習会(平成25年12月10日、11日)を開催します。

→ http://www.safe.nite.go.jp/kasinn/qsar/hess_kousyukai_04.html

下記の要領で標記講習会を開催します。

日時:12月10日(火)、11日(水) 14:00～17:30

場所:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 本館4階 南1,2会議室(東京都渋谷区西原2-49-10)

定員:各15名(先着順)

申込期限:11月29日(金) 12:00

内容は、

- ・近況報告と本講習会の概要説明
- ・評価事例1:溶血性貧血を対象とした化学物質の毒性評価
- ・評価事例2:腎毒性を対象とした化学物質の毒性評価

・評価事例3:肝毒性を対象とした化学物質の毒性評価
など。

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

●【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

●配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

●配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

●ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム